

市民文化部

市民相談	V - 1
消費生活行政及び計量行政	V - 2
市民活動	V - 4
住民組織	V - 6
地区市民センター	V - 7
文化振興	V - 10
文化会館	V - 12
洒翠庵	V - 13
三浜文化会館	V - 14
生涯学習	V - 15
多文化共生	V - 16
男女共同参画	V - 18
戸籍の記録	V - 21
住居表示整備事業	V - 21
四日市地域総合会館あさけプラザ	V - 22
(公財)四日市市文化まちづくり財団	V - 24

市民相談

市民相談は、市民の市政に対する相談をはじめ、日常生活で起こる各種の問題の相談に応じ、市民と行政のコミュニケーションのパイプとしての役目を果たすことを目的としている。平成29年度は4,102件の相談を受けた。また、専門家（弁護士相談：木曜日、司法書士相談：月曜日、行政書士相談：第1・3火曜日、社会保険労務士相談：第3水曜日）による特別相談を予約制により実施した。更に、各機関の協力を得て、公証人による公証相談、行政相談委員による行政相談を実施した。

多重債務問題については、平成21年度の649件をピークに、平成22年6月、改正貸金業法完全施行による上限金利の引き下げ、また総量規制の導入により減少傾向が続いている。平成29年度の相談は177件あり、市主催の無料弁護士・司法書士相談や三重弁護士会四日市支部の多重債務無料弁護士相談等を紹介した。

● 市政に関する相談

(平成29年度)

部 局	件 数	主 な 内 容
危機管理監	2	防災
政策推進部	13	政策
総務部	22	行政
財政経営部	39	税務
市民文化部	1,314	戸籍、住民登録、自治会、特別相談等
健康福祉部	176	年金、国民健康保険、介護、高齢者福祉、障害者福祉、成人検診、生活保護、保健所（保険予防・衛生指導・食品衛生）等
こども未来部	11	子育て支援、青少年対策、児童手当等、保育・幼稚園
商工農水部	8	商業一般、農林、水産、畜産
環境部	36	悪臭、騒音、清掃、予防衛生等
都市整備部	138	開発許可、道路維持補修、河川、公園、建築
市立病院	2	病院業務一般
市議会	0	
教育委員会	9	学校教育
上下水道局	8	上水道、下水道
消防本部	1	
その他	14	
合 計	1,793	

● 市政以外の相談

内 容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
国の所管に関するもの	106	105	83	161	231
県の所管に関するもの	9	13	12	21	28
民事の要素を有するもの	1,256	1,330	1,390	1,100	907
家事の要素を有するもの	1,295	1,389	1,273	1,280	1,143
合 計	2,666	2,837	2,758	2,562	2,309

● 特別市民相談

種 別	件 数	主 な 内 容
弁 護 士 相 談	318	家事、民事、その他の法律的な問題についての弁護士による相談
司 法 書 士 相 談	267	金銭貸借、登記、後見、相続などの司法書士による相談
行 政 書 士 相 談	19	許認可、遺言・相続、契約、後見などの書面作成等の行政書士による相談
社会保険労務士相談	34	年金、社会保険、労働問題などの社会保険労務士による相談
公 証 相 談	6	相続、遺言、各種契約などの公証人による相談
行 政 相 談	16	行政の仕事についての苦情や困りごとの相談
合 計	660	

消費生活行政及び計量行政

●消費生活相談

昭和 47 年 6 月に「四日市市消費者センター」を開設し、市民からの消費生活に関する相談等を迅速に処理するとともに生活情報を提供してきた。平成 17 年度から市民の相談ニーズに合致した対応ができるよう消費生活相談と市民相談を統合した。

平成 29 年度の消費生活相談の件数は 1,845 件（28 年度比 324 件増）であり、商品一般の主に架空請求に関する相談が 397 件で 1 位となった。2 位にはデジタルコンテンツに関する相談が入っている。28 年度の 116 件から 3 件減少し、113 件となっているが引き続き注意が必要である。

契約当時者の平均年齢は 55 歳で、前年度の 52 歳からほぼ横ばいとなっている。今年度は 40 歳代以上からの相談が増加したが、60 歳以上の相談件数を合わせると 681 件となり、全体の約 37%を占めている。

相談窓口を設置する一方、消費者被害を未然に防止するため、「消費生活出前講座」や「消費生活ワンポイント講座」を開催し、29 年度は計 33 回の講座を実施した。また、次世代を担う子ども達が、お金の価値や役割を理解し、計画的に使う意識を身に付けてもらうことを目的に、子どもと保護者を対象に「ゲームでチャレンジ！めざせ！おこづかいマスター！！」と題して「夏のこども教室」を開催した。

そのほか、『広報よっかいち』において準特集記事「オトナの消費者力を身に付けよう！」や、安心消費生活ナビのコーナーで消費生活に関する啓発記事を掲載した。また、各地区市民センター発行の地区市民センターだよりに消費生活相談や消費生活出前講座の PR 記事掲載を依頼した。

更に四日市消費者協会に委託して『みんなの消費生活展』や『消費者講座』を開催するなど、消費者への啓発を行った。

● 年度別消費者センター相談件数

			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
相談件数 合計			1,571	1,758	1,649	1,521	1,845	
方法	文書相談		1	0	0	0	0	
	来所相談		259	307	283	247	280	
	電話相談		1,311	1,451	1,366	1,274	1,565	
種別	苦情	一般	店舗	420	344	348	296	315
		特殊販売	訪問販売	94	178	154	144	167
			通信販売	423	480	447	473	444
			マルチ商法	15	20	19	19	13
			電話勧誘	181	112	119	74	80
			初タイプオプション	14	9	2	6	3
			訪問購入	6	9	7	9	12
			その他	3	5	15	6	8
			不明	109	157	199	194	501
	計	845	970	962	925	1,228		
	苦情 合計		1,265	1,314	1,310	1,221	1,543	
	問い合わせ	一般	店舗	14	27	20	12	12
		特殊販売	訪問販売	2	2	6	0	7
			通信販売	5	11	11	8	8
			マルチ商法	0	0	0	0	0
			電話勧誘	2	6	6	4	3
			初タイプオプション	1	0	0	1	0
訪問購入			1	0	0	0	0	
その他			0	0	0	0	0	
不明			281	398	295	275	272	
計	292	417	319	288	290			
問い合わせ 合計		306	444	339	300	302		
談者(性別)	男		625	770	669	636	691	
	女		909	920	903	803	1,078	
	団体		37	68	77	82	76	
者(地域別)	市内		1,422	1,622	1,516	1,412	1,747	
	市外		149	136	133	109	89	
	不明		0	0	0	0	9	

*訪問購入:平成25年2月から

● 計量行政

昭和40年4月に計量法による特定市の指定を受け、計量器の定期検査・立入検査・量目検査等を実施している。平成29年度には、393戸の検査戸数(検査台数1,207台)があり、そのうち民間計量士による代検査は、256戸の検査戸数(検査台数966台)にのぼっている。

また、事業者に対し、適正な計量の実施を確保すべく監視指導を徹底するとともに、消費者保護の立場から一般消費者参加の試買量目調査を実施し、消費者に計量に対する認識を高めてもらうことにより、計量思想の普及啓発に努めている。

市民活動

「市民活動」の活性化に努め、市民が主役のまちづくりを推進していく。

● まちづくり人材育成支援事業

地域の様々な知識や経験を持つ人材を発掘・育成するとともに、市民活動の活性化に向けた支援を行う。

(1) まちづくり人材マッチング事業

退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、それらの人材と地域ニーズとのマッチングを行っている。

【人材登録者数と地域ニーズとのマッチング実績】

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
年度末現在の 人材登録者数(人)	205	220	222	225	233	238
年間マッチング 実績件数(件)	79	84	50	61	90	84

(2) 地域づくりマイスター養成講座

地域において市民活動・市民協働を理解し携わる人材の育成とネットワークの構築を目的として講座を開催している。平成29年度は、全市版を7月から12月まで全9回、地域版を5地区市民センター（四郷、中部、三重、大矢知、海蔵）において11月から3月まで各2回ずつ開催した。

【地域づくりマイスター養成講座修了者数】

(単位：人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29
全市版	21	21	24	21	21	26
地域版 (H25年度から開始)	---	(八郷) 26	(常磐、桜) 128	(富洲原、橋北、 河原田、県、水沢) 214	(保々、小山 田、富田、内 部、下野) 287	(四郷、中部、 三重大矢知、 海蔵) 247

● なやプラザ

なやプラザは、市内の市民活動や学習グループなどの活動に利用できる会議室や音楽室の貸出しを行う「なや学習センター」と、市民活動等に関する相談や情報提供等を行う「市民活動センター」により構成されており、自主的な市民活動を促進するための市民活動支援施設として、指定管理者である市民活動団体により運営されている。

1. 所在地 四日市市蔵町4-17（旧納屋小学校）
2. 延床面積 1,563.28 m²
3. 休館日 12月29日～1月3日、毎月第2月曜日（祝日にあたる場合はその翌日）
4. 開館時間 午前9時～午後10時

利用者数

(単位：人)

施 設	H24	H25	H26	H27	H28	H29
なや学習センター	50,195	50,264	48,736	50,841	51,993	47,436
市民活動センター	4,463	4,279	4,015	3,495	3,941	4,071
合 計	54,658	54,543	52,751	54,336	55,934	51,507

● 地域防犯活動推進事業

(1) 地域防犯活動支援事業費補助金

市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会に向け、市民団体が行う自主防犯活動に必要な反射ベスト、誘導灯などの購入に対して支援を行っている。

補助限度額	補 助 率	支援団体数
10 万円	9/10	32 団体

(2) 地域防犯活動普及啓発

市民主導による防犯活動の普及を図るため、これから防犯活動を始めようとする団体を対象とした自主防犯活動の進め方の講義や実地指導について、四日市市地域防犯協議会に業務委託を行っている。

住民組織

市は各地区連合自治会と広報連絡(各種広報文書の組回覧、各種啓発ポスターの掲示)等の事務について委託契約を結び、市政への協力を求めている。

● 自治会の組織(平成 29 年 4 月 1 日現在)

- ・町自治会数 714
- ・町自治会組数 7,618
- ・地区連合自治会数 28
- ・地区連合ブロック数 6(ブロック代表 各 1 名)
- ・自治会加入世帯数 106,725
- ・自治会加入率 85.4%

● 委託料

(平成 29 年度)

区 分	単 位	委託料 (年額)
地 区 連 合 自 治 会 長	1 人	76,500 円
地区連合会自治会長調査研究費	1 人	10,000 円
町 自 治 会 長	1 人	57,800 円
町 数 割	1 町につき	2,080 円
世 帯 数 割	1 世帯につき	116 円
自 治 会 長 研 修 会 費	1 人	2,000 円
ブ ロ ッ ク 調 整 会 議 費		582,400 円

● 連絡員制度

市長が委嘱した市連絡員(平成 29 年 4 月現在 409 名)は、週 1 回以上市役所、各地区市民センターに登庁し、市から出される各種文書類の配布を行っている。

地区市民センター

住民の自主的な地域社会づくりを目指し、活発な地域活動を醸成するための施策として、昭和 53・54 年度に全市 22 地区(本庁管内を除く)のうち 9 地区を地区市民センターとして試行し、施設整備等を進めてきた。広報広聴活動や社会教育活動を通じて地域社会づくりに対する市民意識の高揚や地域活動の振興に努めた結果、市民の間で次第にその気運が高まった。こうした状況に対応するため、昭和 55 年度から全地区(本庁管内を除く)で地区市民センターに移行し、さらに昭和 56 年度には、本庁管内についても中部地区市民センターを設置し、市民と行政が一体となった地域社会づくりを推進している。

なお、楠町との合併時の協議に基づき設置した楠総合支所については、組織機構の見直しにより、平成 27 年 4 月 1 日付けで、楠地区市民センターに移行した。

● 地区市民センターの概要

従来の出張所と公民館を施設的、機能的に一体化し、住民と行政の接点、あるいは住民相互の出会いの場として地域社会づくりの拠点となるよう位置づけている。また、センターの業務は、①地域振興業務 ②公民館業務 ③窓口業務の 3 つからなっており、地域行政を推進する拠点として地域課題の解決や各種講座など自主事業を実施している。

センターが発足して四半世紀が経過するなかで、センターを拠点とするグループ・サークル活動も盛んになり、各種団体の活動や団体相互が連携した地域ぐるみの活動も定着している。地域住民の発想による活動が地域づくりの原点であり、平成 15 年度から各地区市民センター内に団体事務局を設置し、「地域社会づくり総合事業費補助金」による財政面での支援を行っている。また、平成 16 年度から民間等で培われたノウハウを活かした地域社会づくりが行えるよう地域マネージャーの配置を開始した。平成 18 年度には全地区に配置が完了し、また楠総合支所の地区市民センターへの移行に伴い、平成 27 年度からは楠地区に 1 名を追加配置し、市民主体の地域社会づくりの推進に努めている。

● 地区市民センター施設状況

施設名 (TEL)	所在地	設置・建設等 年月日	構造	面積	概要
富洲原地区 市民センター (365-1136)	富洲原町 31-46	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S 56.10.20	RC造 2F	敷地 2,025.3 m ² 建築延 672.50 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
富田地区 市民センター (365-1141)	富田 一丁目 24-47	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 41. 3.31 増改築 S. 57. 3.31	RC造 2F	敷地 1,070.61 m ² 建築延 1,111.52 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
羽津地区 市民センター (331-4465)	大宮町 13-12	設置 S. 54. 4. 1 建設<竣工>S. 54. 3.31	RC造 3F	敷地 1,120.89 m ² 建築延 667.23 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
常磐地区 市民センター (351-1751)	城西町 8-11	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 57. 3.31 増改築 H. 4. 3.30	RC造 2F	敷地 2,637.54 m ² 建築延 772.32 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
日永地区 市民センター (345-3197)	日永西 三丁目 2-18	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 55. 3.31	RC造 2F	敷地 2,383.65 m ² 建築延 656.84 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
四郷地区 市民センター (321-2021)	室山町 645-1	設置 S. 54. 4. 1 建設<竣工>S. 54. 3.31	RC造 2F	敷地 3,034.92 m ² 建築延 798.39 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置・建設等 年月日	構造	面積	概要
内部地区 市民センター (345-3951)	采女町 857-1	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 47.11.6 増改築 S. 58. 3.31	RC造 2F	敷地 2,014.19 m ² 建築延 738.94 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
塩浜地区 市民センター (345-2403)	塩浜本町 一丁目 1-2	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S 58.10.14	RC造 2F	敷地 1,323.76 m ² 建築延 688.66 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
小山田地区 市民センター (328-1001)	山田町 1373-3	設置 S. 53. 4. 1 建設<竣工>S. 55. 3.31	RC造 2F	敷地 7,486.34 m ² 建築延 537.19 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
川島地区 市民センター (321-3020)	川島新町 1	設置 S. 54. 4. 1 建設<竣工>S. 61. 9. 3	RC造 2F	敷地 2,439.61 m ² 建築延 653.00 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
神前地区 市民センター (326-2751)	高角町 2977	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 56. 3.31	RC造 2F	敷地 2,776.62 m ² 建築延 587.01 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
桜地区 市民センター (326-2051)	桜町 1399	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 60. 9.11	RC造 2F	敷地 4,451.36 m ² 建築延 666.00 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
三重地区 市民センター (331-3276)	東坂部町 71-2	設置 S. 53. 4. 1 建設<竣工>S. 49. 3.30 増改築 H 元. 3.23	RC造 2F	敷地 3,087.90 m ² 建築延 834.55 m ²	会議室、和室、料理 実習室、図書室、 事務室、ホール
県地区 市民センター (326-0001)	赤水町 957	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 59. 9. 3	RC造 2F	敷地 1,569.20 m ² 建築延 588.12 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
八郷地区 市民センター (365-0259)	千代田町 267-1	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 56. 3.31	RC造 2F	敷地 2,425.00 m ² 建築延 669.44 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
下野地区 市民センター (337-0001)	朝明町 914-3	設置 S. 53. 4. 1 建設<竣工>S. 52. 2.14 増改築 H 4. 3.30	RC造 2F	敷地 1,616.86 m ² 建築延 631.19 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
大矢知地区 市民センター (364-8704)	下さざらい 町 1-3	設置 S. 54. 4. 1 建設<竣工>S. 63. 2.12	RC造 2F	敷地 2,475.83 m ² 建築延 685.44 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
河原田地区 市民センター (345-5020)	河原田町 159	設置 S. 53. 4. 1 建設<竣工>S. 51. 3.31 増改築 H 2. 3.31	RC造 2F	敷地 1,519.39 m ² 建築延 478.50 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
水沢地区 市民センター (329-2001)	水沢町 2109-2	設置 S. 55. 4. 1 建設<竣工>S. 58.11.4	RC造 2F	敷地 1,634.20 m ² 建築延 569.69 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
保々地区 市民センター (339-0001)	市場町 3039-5	設置 S. 54. 4. 1 建設<竣工>S. 53. 3.21 増築 H 6. 7.22	RC造 2F	敷地 2,015.65 m ² 建築延 647.67 m ²	会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地		
海蔵地区 市民センター (331-3284)	大字 東阿倉川 622-1	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 59. 6. 5	RC造 2F	敷地 2,956.75 m ² 建築延 658.69 m ²		会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
橋北地区 市民センター (331-3787)	新浜町 14-11	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 6. 12	RC造 2F	敷地 1,381.59 m ² 建築延 567.81 m ²		会議室、和室、料理 実習室、 図書室、事務室
中部地区 市民センター (354-0336)	西浦 一丁目 8-3	設置 S. 56. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 3. 31	RC造 4F	敷地 971.45 m ² 建築延 2,386.73 m ²		会議室、和室、料理 実習室、図書室、 事務室、音楽室 美術室、茶室
楠地区 市民センター (398-3111)	楠町 北五味塚 2060-72	設置 H. 17. 2. 7 建設(竣工) S. 57. 10. 15	RC造 4F	敷地 3,734.04 m ² 建築延 2,960.71 m ²		会議室、事務室

● 地区市民センターの事業

24地区市民センターにおいて、それぞれの地域の学習ニーズに対応した学級・講座の開催、並びに地域社会づくり事業活動への支援をおこなった。

平成29年度 地区市民センター

平成29年度 地区市民センター施設利用状況

生涯学習事業実施状況（分野別）

分野	回数	人数
家庭教育・子育て	110	4,045
環境	88	1,845
男女共同参画	43	922
人権・同和	7	984
福祉	55	2,602
I T情報	9	72
趣味・生活技術	91	1,622
文化活動	46	943
スポーツ・レクリエーション	14	325
交通	5	92
その他	32	848

利用種別	回数	延人数
サークル活動	16,625	173,908
社会教育関係団体活動	3,836	81,300
その他団体活動	5,394	99,508
センター事業	690	14,605
公用	1,581	40,944
合計	28,126	410,265

● 地域社会づくり総合事業費補助金

地域住民自らの手によるまちづくりを進めることにより、豊かな地域社会となるよう、地域団体が行う地域の活動に対して支援している。（平成29年度）

対象事業名	補助率	実施内容	対象数
地域社会づくりのための総合的事業	9/10	伝統文化行事、文化祭、運動会、防犯・防災活動環境美化、高齢者見守り、青少年育成 など	333事業
地域団体事務局運営事業	10/10	地区の団体事務局運営にかかる費用	25団体

文化振興

文化を生かした個性豊かな地域づくりを行うことを目的とした「四日市市文化振興条例」に則り、文化振興に関する基本計画である「四日市市文化振興ビジョン」を策定して、ここに掲げた取り組みの方向性に基づくさまざまな施策を展開し、文化振興を通じた、産業と文化が調和する住みたくなるまち・住み続けたくなるまちの実現に向けて取り組んでいる。

●文化の振興（平成29年度実施状況）

1. 文化行政の推進について

文化振興に関する基本計画「四日市市文化振興ビジョン」に掲げた基本目標「住みたくなるまち・住み続けたくなるまちに（まちへの誇り・希望）」の実現に向け、学識経験者や文化団体の代表者などで構成する「文化振興審議会」を開催してビジョンの進捗確認を行うとともに、大所高所からの意見をいただき文化行政の推進を図った。

また、庁内各課が行う文化施策や事業を「文化振興実施計画」としてまとめ、これをもとに、特に関係の深い所属で構成する「文化行政総合企画調整会議」を開催して庁内の連携を図るとともに、市民の声を事業に反映するため、「文化振興に関する市民会議」を開催し、大学生や企業の方々、文化活動を行う市民など多様な立場での意見を聴取した。

四日市市文化振興審議会	2回開催
文化行政総合企画調整会議	2回開催
文化振興に関する市民会議	2回開催

2. 文化事業及び文化振興育成事業について

①第6回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいちの開催

都市の活力の両輪である文化と産業が互いに響きあう、魅力と活気あふれたまちを創るため、音楽が持つ力で人々を感動させ、共感しあう音楽コンクールを開催し、四日市の文化的な魅力を全国へ発信した。

会期：平成29年10月15日（日）

会場：四日市市文化会館第1ホール

応募団体数：53組　本選出場団体数：15組　観客数：1,440人



文化会館

市民の文化、教育、福祉等の増進に資するため、市制施行80周年記念事業の一環として昭和57年8月1日に開館し、本市の文化振興の拠点施設として、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動の場として貸館を行っている。

会館の運営については、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、平成25年4月1日に公益財団法人となった四日市市文化まちづくり財団が指定管理者として管理運営を行っている。

開館から35年を経過した施設の安全性と市民の利便性を高めるため、平成29年度から平成31年度にかけて吊天井崩落対策工事を主とした大規模改修等工事を行うこととし、平成29年度は、第2ホールの吊天井崩落対策工事に着手した。



● 施設概要

- ・所在地 安島二丁目5-3
- ・総事業費 48億円
- ・敷地面積 20,681m²
- ・延床面積 13,883m² (第1ホール棟 6,343m²、第2ホール棟 2,767m²
会議管理棟 2,298m² 美術展示棟 2,128m² エントランスホール347m²)
- ・建築面積 8,133m²
- ・高さ 27.6m(最高第1ホール上部)
- ・第1ホール 収容人数 1,786人、舞台：間口18m、高さ9m、奥行き18m
- ・第2ホール 収容人数 593人、舞台：間口15m、高さ7.5m、奥行き14m
- ・第3ホール(会議用) 収容人数300人
- ・第4ホール(会議・展示用) 収容人数400人
- ・展示室 第1展示室、第3展示室、第4展示室、常設展示室
- ・会議室 第1会議室、第2会議室、第3会議室、和室会議室
- ・リハーサル室 第1リハーサル室、第2リハーサル室
- ・練習室 第1練習室、第2練習室、第3練習室
- ・その他 レストラン(110席)、駐車場(約400台)、会館事務室、応接室、防災センター

● 文化会館利用状況(29年度)

- ・日数利用率(各施設の使用日数を開館日数で割った平均利用率)・・・80.9%
- ・区分利用率(1日を午前・午後・夜間の3区分に分けた区分使用数を開館区分数で割った率)
・・・57.5%
- ・来館者数・・・396,654人

泗 翠 庵

市民茶室泗翠庵は、平成6年7月6日に開館し、市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供している。平成18年4月からは、文化会館と併せて指定管理制度を導入し、施設の貸館のほかにも、四日市茶道教授連盟と連携して日常的に立礼席を設けるほか、茶道に関する諸講座を行うなど事業の充実を図っている。

● 施設概要

所在地 鵜の森一丁目13-17
 総事業費 約2億円(備品購入費などを含む)
 敷地面積 1,407.0m²
 延床面積 267.8m²

● 立礼席

営業時間 午前10時～午後4時
 休業日 毎週月曜日(ただし、祝祭日のときはその翌日)
 12月28日～1月4日
 料 金 一服 400円(お菓子付・税込)



● 来庵者の状況

年 度	開 庵 日	茶 室	立 礼 席	見 学 者	合 計
平成27年度	308 日	5,343 人	8,175 人	599 人	14,117 人
平成28年度	308 日	7,283 人	7,585 人	350 人	15,218 人
平成29年度	308 日	5,331 人	7,771 人	427 人	13,529 人

三浜文化会館

平成26年3月末に閉校した四日市市立三浜小学校を有効活用し、芸術文化活動の場、生涯学習活動の場などの機能を持つ施設として整備を行った。稼働率の高い四日市市文化会館の練習室やリハーサル室などの機能を補完する「第2の文化会館」としての役割も果たし、市民の活動の場を広げている。

● 施設概要

所在地	海山道町一丁目1532-1		
総事業費	約7億円		
敷地面積	22,284㎡		
延床面積	本館：5,669㎡(3階) 多目的ホール：748㎡(1階)		
駐車場	154台		
開館時間	午前9時～午後9時(午後10時までの超過使用可)		
休館日	火曜日(ただし、祝祭日、あるいは四日市市文化会館が休館の場合は開館し、翌水曜日閉館)		
	12月28日～1月4日		
貸施設	・リハーサル室 2室	・練習室 4室	・会議室 8室
	・展示室 2室	・視聴覚室	・創作スペース
	・陶芸室	・多目的ホール	
その他施設	・ロビー	・図書室	・キッズスペース

● 利用状況

(H29.4～H30.3.末時点)
利用者数：76,035人
利用登録団体数：487団体



生涯学習

住民自らが各種の活動に参加しながら連帯意識を醸成し、進んで地域社会づくりに参画する気風を育むための生涯学習をめざして、24 地区市民センターを中心に住民活動を推進している。

また、市民のライフステージに応じた生涯学習活動を支援するとともに、市民の学習意欲が主体的な市民活動につながるよう市民大学講座や学習情報提供事業を行っているほか、職員が出向いて市政情報を提供する「いきいき出前講座」を開設し、市民が気軽に利用できる学習機会を提供している。

(平成29年度実施状況)

① 市民大学一般クラスの開催

市民の幅広い学習意欲に応えるため、人権、芸術文化、経済等をテーマに、公募による市民団体が企画運営するコースを3コース、大学機関に委託するコースを2コース開講した。(受講者 277人)

- Aコース 市民団体企画運営「地域カレッジ2017」
～やさしく学ぼう！社会保障と福祉と暮らし～
- Bコース 市民団体企画運営「女性建築士と共に「親の家」を考える」
～家の片付け・在宅介護について～
- Cコース 市民団体企画運営「介護者を応援し隊」
～介護者が自分らしくやさしくいられるために～
- Dコース 四日市大学企画運営「「音」で紡ぐ世界の文化・芸術III」
～日本の音の情景を訪ねて～
- Eコース 三重大学四日市フロント企画運営「21世紀ゼミナール」
～不確実性時代の始まり～

② 熟年大学の開催

市内在住の満60歳以上の方々を対象として、生きがいつくりや仲間づくり、社会参加への意欲を高めるため、1年目の「教養課程」と2年目の「専攻課程」を開設し、それぞれ午前中の講義と午後のクラブ活動のほか、市内現地学習・音楽鑑賞会と交流会・文化祭等の行事全23回のカリキュラムを開催した。

(修了者数 「教養課程」53人、「専攻課程」48人)

③ 生涯学習情報の提供

市民ボランティア記者の企画・取材、編集による生涯学習情報誌「まなぼうや通信」を年3回発行するとともに、ホームページでも掲載し、学習情報を提供した。また、各地区市民センター等のサークル情報の発信も行った。

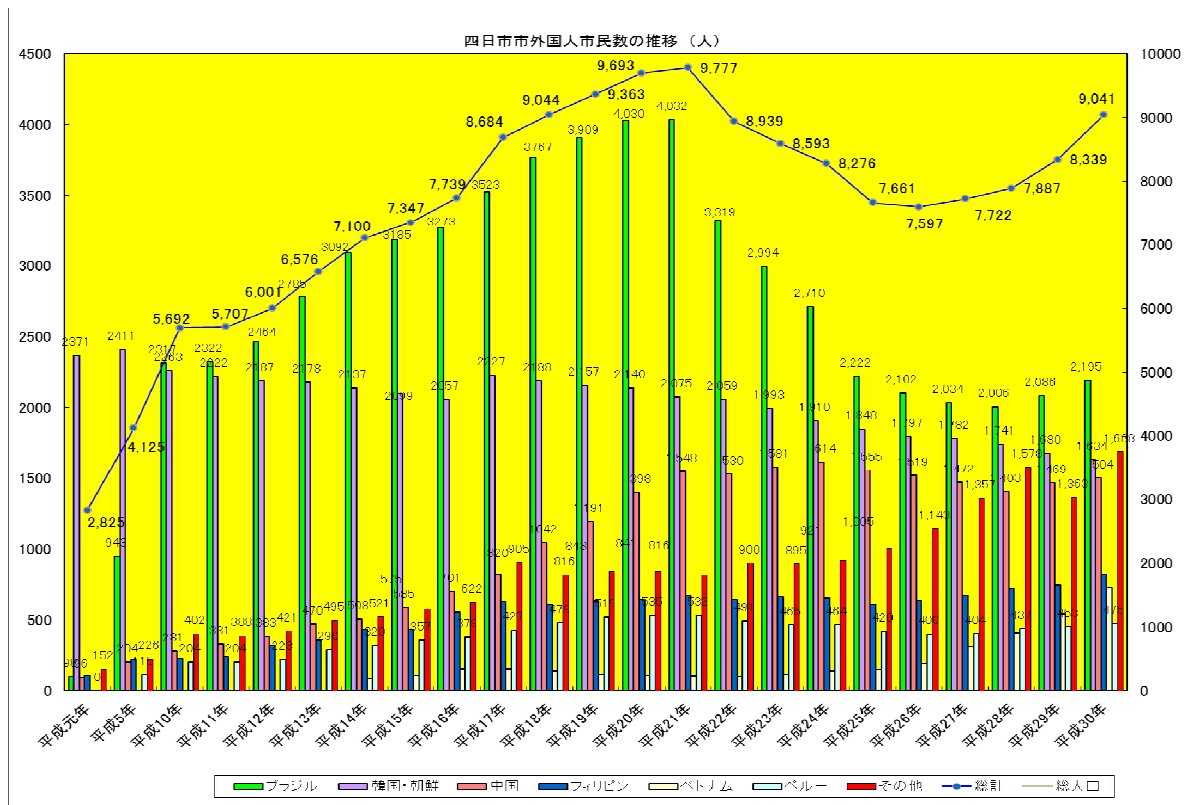
④ 生涯学習いきいき出前講座の開催

行政全般にわたる講座メニューの中から、市民のリクエストにより、指定された日時・場所に担当課の職員が出向いて情報を提供するもので、472件の利用があった。

多文化共生

平成30年3月31日現在、本市には66カ国9,041人の外国人市民が居住しており、市人口の約2.9%を占めている。

なかでも笹川地区(笹川1～9丁目)には地域人口の約16%に当たる1,595人の外国人が生活しており、外国人市民も対等な地域社会の構成員として自立した生活ができるよう取り組みを進めている。



- 母語対応 (ポルトガル語・スペイン語)
 - ・ポルトガル語・スペイン語対応職員の配置 (本庁・四郷地区市民センターのほか、市立の保育園・幼稚園・小学校・中学校)
 - ・日常生活に関連の深い文書 (生活ガイドブック、ゴミ分別表、申請書類) や通知などを逐次翻訳
- 外国人市民への情報伝達、啓発 (ポルトガル語・スペイン語など)
 - ・「外国人市民向け生活オリエンテーション」を開催し、転入時に各種制度や生活ルールを説明
 - ・ポルトガル語版市広報の発行、FMよっかいちでの市政情報番組、四郷地区市民センター発行の広報「お知らせよう」のポルトガル語版・スペイン語版の発行など
- 日本語習得の支援
 - ・ボランティア日本語教室 (5教室) の開催・支援、日本語ボランティア研修の開催
- 多文化共生モデル地区事業
 - ・地域と連携した多文化共生の拠点施設として「四日市市多文化共生サロン」を設置し、日本語教室、日本の文化や生活習慣を理解するための講座、多文化共生に係る情報提供と行政等への窓口案内を実施、また、住民同士の橋渡し役を担う多文化共生モデル地区担当コーディネーターを配置
 - ・外国人市民の地域活動への参画を促進するため、共助の大切さを理解する防災セミナーや普段から顔の見える関係をつくるための交流事業などを開催

- 多文化共生講演会の開催



- 推進体制

- ・ 四日市市多文化共生推進本部（庁内組織 本部長：市長）、笹川地区多文化共生推進会議（地域の自治会、UR、行政関係機関などで構成）など
- ・ 外国人集住都市会議（外国人住民が多数居住する22市町で構成。国・県・経済界等への政策提言・要望や施策情報などの交換を行う）

男女共同参画

四日市市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施している。

男女共同参画プランよっかいち 2015～2020 に基づく施策の推進についての審議等を行うため、男女共同参画審議会を3回開催した。

男女共同参画センターでは、男女共同参画社会を目指す市民活動の拠点として、女性問題の解決や女性のエンパワーメントの促進に加え、男性や子ども、また再就職を希望する女性についても参加しやすい事業を開催した。市民や市民グループとの協働に積極的に取り組み、性別にとらわれることなく一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざすための施策の推進と事業を行っている。

● 平成29年度事業

仕事の柱	事業名	事業内容
Ⅰ 男女共同参画施策に関する事業	①四日市市男女共同参画審議会	男女共同参画プランよっかいち 2015～2020 に基づく施策の推進及びプラン見直しの方向性についての審議のために3回開催した。
	②男女共同参画人材リスト事業	政策決定等の場での男女比の是正をはかるため、審議会等の女性委員の登用率を上げることを目的として作成した女性人材リストを人事課と情報を共有し、庁内での活用促進に努めた。(平成30年3月末現在登録者146名) また、登録者等を対象に、女性が方針決定の場に参画する必要性について考える研修会を開催した。(1回)
Ⅱ 学習機会の提供および人材養成に関する事業	①さんかくカレッジ	男女共同参画社会を推進するための啓発講座等を行った。 ・「じいの出番だ!まかせとき!」 3回 ・「再就職を迷う女性のための人生設計 ～私のストーリー&交流会～」 3回 ・「家事労働」3回 ・「子どもも自分もどっちも大事 子育て力を内側からアップする講座」 3回 ・「さんかくカレッジ2017 パパちからUP!新米パパの離乳食教室」 2回 ・「さんかくカレッジ2017 低栄養予防!介護食をつくろう! ～現役世代のための介護食入門講座～」 2回 ・「女性のための起業応援セミナー」 1回 など11企画21講座を開催。
	②情報収集提供事業	男女共同参画センターの情報コーナーの書籍・雑誌などの充実を図った。また、ホームページや情報紙「はもりあ」による情報発信を定期的実施した。
	③就職を希望する女性への支援事業	起業や就職を考えている女性を対象に、プチ起業入門講座を開催した。また、現在働いている女性、働きたいと考えている女性を対象に、「働く女性、働きたい女性のための就労相談」を実施した。(24回25件) さらに、ハローワークと共催で「就職支援セミナー」を、三重県雇用対策課と共催で「女性のための就労支援相談」を開催した。

	④三重県内 男女共同参画 連携映画祭	男女共同参画週間にあわせ、県内男女共同参画センターや21市町が連携して映画会を開催。本市は「これが私の人生設計」を四日市市文化会館で上映した。
	⑤こどもさんかく カレッジ	子どもや子育て世代の方々に、はもりあ四日市を知っていただくとともに、パネルシアター等でのちょこっとさんかく教室を通じて男女共同参画についての興味と知識を得てもらうことを目的に、小学生向けの講座を実施した。 ・「キラキラクラッシュゼリーを作ろう」 1回 ・「ハッピーメガネでしあわせになろう」 1回
	⑥夫婦講座	実際に育児休業を取得したものの、職場復帰に不安を感じている人のために、実際に育児休業を取得し、復帰された夫婦の体験談を聞き、お互いに何ができるのかを考えてもらうことを目的に、育休中または育休取得予定の方とそのパートナーを対象とした講座を実施した。 ・「育休後職場復帰セミナー 夫婦で考える これからの仕事と子育て」 1回
	⑦健康講座	女性だけでなく男性にも「更年期障害」があるということを知ってもらうとともに、健康づくりのために運動を継続して続ける必要性を知ってもらい、実践することで、生涯を通じた健康保持を考えてもらうことを目的に、20代～50代の現役世代の男性を対象とした講座を実施した。 ・「男性向け健康講座 働きながら健康づくり」 1回
仕事の柱	事業名	事業内容
Ⅲ 男女共同参画を推進する市民グループのネットワーク事業	①市民協働事業 「はもりあフェスタ」	市民グループと行政で構成する企画運営委員会を構成し、事業の企画・運営を行った。身近なところに男女共同参画の課題があること、身近なところから男女共同参画を始めることができることに気づいてもらうために、登録グループの活動発表や市民活動グループによるワークショップ、グループの活動展示及び起業を応援するチャレンジショップ、会場一体型のエンディング等を開催した。
	②登録グループのつどい	年に2回、登録グループが集まり、活動紹介、はもりあ四日市の事業についての意見交換及び男女共同参画の研修（1回）を実施した。
Ⅳ 相談事業	①法律相談	婦人相談員による相談の中で、特に専門性の必要なケースについて弁護士による法律相談を実施した。（12回38件）
	②臨床心理士相談	心に傷を負った相談者の心のケアを行うため、臨床心理士による心理相談を実施した。（12回46件）
	③男性のための電話相談	生き方、家庭、職場や地域社会などで悩んでいる男性のための、臨床心理士による電話相談を実施した。（12回26件）
	④デートDV 予防教育（男女 平等教育）出前 講座	ジェンダーの視点や恋人間の暴力について、未就学児から大学生、教職員等を対象に、受講者の年代に合わせた内容で講座を実施した。（幼稚園・保育園15回、小学校30回、中学校4回、高校4回、その他【教職員等】11回）
	⑤DV防止 講演会	DVの実態とその社会背景を踏まえ、夫婦げんかとDVはどう違うのかを学ぶことで、夫婦や恋人など大切な人との関係を考える機会とするための講演会を開催した。

⑥女性のための自己尊重講座	女性がありのままの自分を受け入れ、自分も周りの人も大切にしながら、自分の気持ちや思いを言葉で表現しようとする機会となる講座を開催した。(3回)			
⑥相談室における相談件数				
・内容別				
暴力 1, 4 5 3	夫婦関係 5 6 2	親子・家庭親族 1 0 1	生き方 2 9 9	別れた夫・恋人 4 6
暮らし 1 2 3	こころ 1 2 5	人間関係 3 6	仕事上の問題 6	からだ 1 0
性・性的被害 1 2	保護・更正 0	その他 2 8	合 計 2, 8 0 1	

戸籍の記録

1. 戸籍届出件数の推移

(単位：件)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
出生	3,684	3,677	3,654	3,538	3,600	3,538	3,398	3,499	3,338	3,138
死亡	2,900	2,967	3,198	3,381	3,184	3,268	3,380	3,589	3,513	3,446
婚姻	3,485	3,435	3,279	3,161	3,242	3,184	3,091	3,102	3,054	3,022
離婚	853	807	876	826	851	834	780	798	747	763

住居表示整備事業

昭和37年に施行された「住居表示に関する法律」に伴い「住居表示整備実験都市」に指定された本市は、昭和37年度、まず旧市内の住居表示整備事業に着手し、順次市街地の住居表示整備に努め、平成6年度まで27.876km²にわたり住居表示を実施した。

過去において四日市市は、住民基本台帳上の公称町名、不動産登記簿上の公称町名、自治会を単位とした通称町名が混同され、加えて境界が判然とせず、町界の入り組みも重なって全国でもまれにみる複雑な町界町名を有していた。しかし、住居表示整備事業の進捗とともにこの混乱は解消され、市民の日常生活はもちろん、行政事務にも多大の利便がもたらされている。

なお、平成29年度の建物の新・改築等による住居番号の付定件数は614件であった。

● 実施状況

全面積比……………13.50%

住居表示方法……………街区方式

全人口比……………38.97%

フロンテージの間隔……………15m

全世帯数比……………42.10%

(比率は平成29年3月31日現在)

実施年度	実施区域	面積	世帯数	実施状況			
				街区数	旧町	新町	
昭和37	旧市内、羽津、海蔵、橋北、浜田南部	km ²	戸				
39		5.892	13,961	784	112	58	
40		3.319	7,228	418	84	20	
41		3.393	4,276	295	32	23	
42		1.942	1,326	145	13	10	
43		1.984	2,125	220	18	19	
44		2.015	2,598	168	12	16	
45		2.405	1,680	156	14	17	
46		3.125	821	85	14	10	
47		1.292	741	129	9	7	
48		1.660	1,117	132	6	13	
52		0.429	552	65	3	5	
53		0.413	881	76	6	5	
平成6		0.007	28	1	-	-	
合計		27.876	37,334	2,674	323	203	

※世帯数・街区数は、実施日現在

四日市地域総合会館あさけプラザ

あさけプラザは、四日市市及び三重郡の住民が文化・教養・福祉・スポーツ・創作・学習・保健など様々な活動を通じて、連帯と潤いのある生活を創造する広域複合施設である。

また、子どもから高齢者まで幅広い層が利用できる各種の施設機能を持ち“ふれあいと語らいの場”として活用されている。

当施設は、昭和 56 年度に国が提唱する「田園都市中核施設」整備計画に基づく広域市町村圏のタウンセンターともいふべき「リージョンプラザ」(＝圏域広場)として、59 年 7 月に完成、同年 8 月 18 日にオープンした。

その後、年月の経過とともに、施設・設備の老朽化が見受けられることから、計画的な整備・改修を実施し、安全・安心と快適な利用に資するための施設づくりに取り組んでおり、平成 27 年度には浴室の改修を行ったほか、平成 28 年度から順次トイレのバリアフリーを進めている。

図書館においては、特色ある図書館を目指し、児童書の充実並びに子どもの読書活動を推進している。

また、利用者に等しく良質なサービスを提供するため、市立図書館、楠交流会館図書室、四日市公害と環境未来館図書コーナーと連携協力し、利用者ニーズに応じた図書館づくりを行うとともに、三重県図書館情報ネットワークとも緊密に連携して、広域利用の一層の推進を図っている。

当館自主事業についても、時代のニーズに即応した教養講座や創作教室などを適宜開催し、住民の学習意欲に応えるよう努めている。

● 施設概要

- ・所在地 四日市市下之宮町 296 番地 1
- ・総事業費 約 25 億円(用地費を含む)
- ・竣工 昭和 59 年 7 月 31 日
- ・敷地面積 18,703.69 m²
- ・建築面積 4,365.88 m²
- ・延床面積 6,391.76 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 2 階 一部 5 階建

● 施設

- ・老人福祉施設……………集会室(2室)、浴室
- ・保健衛生施設……………問診室、検診室、身体測定室、機能回復訓練室
- ・図書館、学習室
- ・ホール(326席)
- ・小ホール
- ・展示会議室(5室)
- ・体育館
- ・創作、学習施設…………… 料理室、美術室、音楽室、陶芸室、茶室
- ・その他…………… 事務所、展示コーナー、ロビー、屋外ステージ(中庭)、娯楽談話室、作業室
- ・屋外施設……………運動広場、駐車場(114台収容、おもいやり駐車場3台)

● 施設利用状況（平成29年度）

1. 有料施設

区 分	開館日数	利用可能 コマ数	利用コマ数	利用率(%)	利用者数(人)
ホ ー ル	270	809	301	37	28,217
体 育 館	300	900	835	93	39,534
第1小ホール	300	900	632	70	10,819
第2小ホール	299	895	646	72	7,276
展 示 会 議 室	1	301	902	72	4,592
	2	300	898	62	6,226
	3	299	897	67	7,013
	4	302	904	58	9,184
	5	302	904	72	8,779
料 理 室	297	891	401	45	7,173
美 術 室	300	899	610	68	8,020
音 楽 室	300	899	600	67	10,852
陶 芸 室	296	887	326	37	1,302
茶 室	298	894	382	43	2,487
学 習 室	298	298	110	37	1,129
集 会 室	1	300	39	13	309
	2	300	15	5	513
合 計	—	13,377	7,880	59	①153,425

2. 図書館

開館日数	利用者数	学習室利用者数	合 計
296日	113,762人	4,946人	②118,708人

3. 老人福祉施設

集会室			浴室			合 計
開館日数	利用者数	1日平均	開館日数	利用者数	1日平均	
302日	15,220人	50人	275日	23,439人	85人	③38,659人

4. 保健衛生施設

区 分	開催回数	利用者数(人)
機能回復訓練事業	302	13,111
成人健康相談事業	83	3,097
その他	58	2,852
合 計	443	④ 19,060

● 運動広場

開催回数	利用者数
59	⑤ 2,918人

● 高齢者講座

開催回数	利用者数
12	⑥ 317人

● 屋外ステージ（中庭）

開催回数	利用者数
15	⑦1,202人

①+②+③+④+⑤+⑥+⑦ = 334,289人

(公財) 四日市市文化まちづくり財団

四日市市が100%出捐した財団法人四日市市文化振興財団、財団法人四日市国際交流協会、財団法人四日市市都市整備公社及び財団法人霞ヶ浦振興公社の4法人の解散を受けて、4法人の事業を発展的に継承し、「みんなが誇りを持てるまち、四日市」の実現に向けて四日市市のまちづくりの一翼を担い、財団運営の機動性や弾力性を活かした効率的かつ安定的なサービスを行うとともに、行政や市民等との連携・協働を図るという役割と使命を掲げて、平成20年4月1日に「財団法人四日市市まちづくり振興事業団」として設立されました。

公益法人制度改革に伴い、平成25年4月1日に公益認定を受け、名称を「公益財団法人四日市市文化まちづくり財団」に変更しました。

◆組織

- ・名称 公益財団法人 四日市市文化まちづくり財団
- ・所在地 四日市市本町9番8号 本町プラザ内
- ・基本財産 2億円(全額を四日市市が出捐)
- ・体制 別図(組織体系図)のとおり

◆事業の概要

I 文化・芸術の振興に関する事業

文化・芸術の振興に関する事業については、四日市市の指定管理者として四日市市文化会館及び茶室「泗翠庵」の管理運営を行っています。

また、施設管理業務については、安全で安心な施設管理を確保したうえで、利用者ニーズに対応する等、サービスの向上に努めています。

●文化振興事業(平成29年度)

◎文化を担う人材の育成・支援

- ・学び舎音楽会 小学校12校、中学校4校で開催
- ・第6回こどもフェスティバル
- ・市民参加型事業
 - ヤングアメリカンズ、Yokkaichi TEEN'S MUSIC FES 2017
 - ニューイヤーコンサート2018
- ・第33回四日市文芸賞
- ・よっかいちアーティストバンクの募集と活用

◎優れた芸術文化を鑑賞する機会の確保

- ・ホール事業
 - 和楽器クインテットコンサート、フォレストコンサート、三遊亭円楽独演会、サンクトペテルブルグアカデミー・バレエ公演、さだまさしコンサートなど計13事業
- ・こどもの文化鑑賞機会の充実
 - アニメコンチェルト、ウルトラマンライブ、能狂言教室、劇団四季「こころの劇場」ほか

- ・三泗小学校音楽会鑑賞支援事業
- ・アウトリーチ事業
 - 移動文化会館（2回）
 - 劇団「うりんこ」公演（三浜文化会館）、親子で楽しむ音楽劇（あさけプラザ）など

◎四日市の個性を生かした事業

- ・萬古焼展示 「萬古展」「四日市萬古展」「現代萬古陶芸展」の3回実施
- ・萬古作家のお茶碗でお茶を楽しむ 2回実施
- ・四日市市出身者顕彰事業
 - 第14回文治まつり

◎文化を創造する環境づくりのための事業

- ・第6回四日市JAZZ FESTIVAL
- ・まちかどコンサート 近鉄四日市駅周辺で3回開催
- ・企画展「獨り行く人 画家 中川一政」
- ・ワンコインコンサート 「アンサンブル・ロゼコンサート」など5回実施
- ・よんぶんセミナー 「クラシックセミナー」「能楽セミナー」など9回実施

◎文化情報の発信

- ・文化展望 四日市「ラ・ソージュ」第39号発刊
- ・「催物ごあんない」 毎月発行（組回覧）
- ・財団ミニギャラリー 「Yoshitsugu ART」など4回実施
- ・ホームページの更新
- ・地元メディアによる発信 CTY-FM「アムリタイム」

◎伝統文化の普及と啓発事業（茶室「泗翠庵」事業）

- ・茶道体験教室 「茶花を活かしてみよう」など6回実施
- ・伝統文化講座 「花かごづくり体験」など7回実施
- ・特別事業 「調理技能展」2回実施

◎運営基盤の強化

- ・文化事業支援システム「カルチャーサポート」
- ・文化会館友の会「楽人くらぶ」運営事業

II 国際交流・多文化共生の推進に関する事業

諸外国との相互理解と友好親善を深め、外国人も住みやすい四日市市の実現を目指して、市民参加型の国際交流や国際理解の推進に関する事業を行っています。また、四日市市の多文化共生推進プランの方針に沿って、お互いの違いを認め合い対等な関係を築きながら、すべての人が安心して快適に生活できるような、多文化共生社会の基盤づくりにつながる事業を行っています。

●賛助会員制度

地域の活動の輪を広げ、より広範囲に有益な国際交流事業を運営し、事業及び運営資金面への支援を得るため、事業の趣旨に賛同する個人、団体による賛助会員制度を設けています。

会 費（年間） 個人会員一口 3,000 円 法人会員一口 10,000 円

●ボランティア制度

市民の国際交流活動を活発にするとともに、国際意識と国際理解を醸成するため、市民の協力による通訳等下記の活動を行うことを目的として、ボランティア制度を設けています。

- (1) 日本語学習支援
- (2) 翻訳
- (3) 託児
- (4) イベント協力

●主な事業（平成29年度）

◎諸外国との相互理解と友好親善の促進

・国際交流イベント

国際理解講座（中国福建省紹介、ベトナム映画会）・Coffee Break（外国語による国の紹介）、日本文化探訪（着付け教室・「書」と「箏」のコラボレーション・津軽三味線演奏会等）、日本語サークル発表会

- ・外国語講座 英語、スペイン語、ベトナム語等 6か国語 26講座
- ・姉妹都市米国ロングビーチ市の交換学生・教師(トリオ)受入…四日市市受託事業

◎多文化共生社会の基盤づくりの取り組み

- ・日本語サークル
- ・外国人のための行政相談
- ・外国人のための法律相談
- ・生活・案内相談
- ・外国人市民向け情報提供

◎市民参加の幅広い交流活動の推進

- ・ボランティア活動の推進 …ボランティア活動に対する支援・協力及び研修会実施等
- ・他団体との協力・連携・助成…視察、体験学習の受入、NPO団体と相互協力
- ・広報活動と情報の提供 …機関紙発行、海外雑誌・新聞等の閲覧提供、ホームページ

Ⅲ スポーツ及びレクリエーションの増進に関する事業

市民に身近で安価な親しみやすく、利用しやすいレジャー施設を提供するとともに、安全性の確保に努めています。

●主な施設の概要

1. 伊坂ダムサイクルパーク

(1)概要

①サイクリングコース

- ・竣工 昭和53年7月29日
- ・建設費 77,389千円（財源内訳）日本自転車振興会補助金 23,900千円
年金福祉事業団(当時)借入金 53,000千円
自己資金 489千円
- ・施設内容 サイクリングコース 全長 3.6 km 休憩所 6 棟 フェンス 標識等

自転車格納庫 伊坂ダム 215.2 m² 山村ダム 79.5 m²

自転車保有台数 133 台

〈一般車 121 台(子供用、かご付等含む) タンデム車 12 台〉

②サイクル広場

・竣工 平成5年3月25日

・建設費 104,438千円(財源内訳) 日本自転車振興会補助金 37,510 千円
年金福祉事業団(当時)借入金 39,200 千円
自己資金 27,728 千円

・施設内容 モトクロス自転車コース 全長 200m
変わり種自転車コース 全長 470m
管理棟兼自転車格納庫 197.5 m²
自転車保有台数 63 台

〈マウンテンバイク 21 台 変わり種 36 台 一輪車 6 台〉

③その他

ログハウス(サイクルパーク管理事務所) 149.1 m²

・竣工 平成4年3月31日

・建設費 35,000千円

・施設内容 休憩室 自転車格納庫 トイレ 事務所 倉庫

チビッコカー乗り場及びレストコーナー

・竣工 平成6年3月25日

・建設費 16,830千円

・施設内容 チビッコカー乗り場 528.2 m² レストコーナー 321.3 m²

(2)利用状況

(単位:人)

年度	サイクリングコース	サイクル広場	チビッコカー
平成 27 年度	20,443	29,496	10,538
平成 28 年度	19,574	27,359	10,083
平成 29 年度	20,222	29,347	11,124

2. 四日市スポーツランド

(1)概要

①アスレチックコース

・竣工 昭和54年7月29日

・建設費 91,925千円 (財源内訳) 日本宝くじ協会補助金 33,000 千円
年金福祉事業団(当時)借入金 57,300 千円
市補助金 1,625 千円

・施設内容 アスレチックコース 全長 1.2 km 遊具 31 基
受付棟 9.77 m² トイレ 駐車場約 200 台

②高岡山周辺施設

・竣工 昭和59年3月3日

- ・建設費 226,850千円 (財源内訳)雇用促進事業団(当時)建設分 150,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 44,800千円
自己資金 32,050千円

- ・施設内容 センターハウス 710 m²
スーパースライダー 全長 150m
大型トリム 高さ 6m
ローラースケート場 1周 100m
デーキャンプ場 713 m²
芝生広場 多目的広場 トイレ あずまや等

③その他

- FRP製恐竜遊具 3体(ディメトロドン トリケラトプス プラテオザウルス)
- スプリング遊具 2基 ちびっこプール 100 m²
- チビッコカー広場 センターハウス内自然観察展示コーナー
- サイクリングコース 自転車格納庫
自転車 49台
(一般車 9台(婦人用、子供用) マウンテンバイク 40台)

(2)利用状況

(単位:人)

年 度	サイクリングコース	アスレチックコース	スーパースライダー	ローラースケート場
平成 27 年度	1,014	43,028	35,287	5,398
平成 28 年度	603	39,320	32,860	5,561
平成 29 年度	824	47,507	34,963	6,846

年 度	デーキャンプ場	ちびっこプール	チビッコカー
平成 27 年度	6,542	1,320	10,293
平成 28 年度	6,436	1,396	9,097
平成 29 年度	6,312	1,062	9,096

IV 都市施設の管理及び都市環境の維持保全に関する事業

指定管理者として指定された施設、また、その他四日市市からの受託事業についても、効率的な管理及び快適な市民サービスの提供に努めています。

また、財団の施設である賃貸住宅・賃貸店舗の管理運営と各団地内等の月極駐車場の管理運営を行っています。

●都市施設の管理事業

◎指定管理施設

- ・四日市市市民交流会館の管理運営
- ・四日市市総合会館集会施設の管理運営

◎受託管理施設

- ・四日市市視聴覚センター貸館業務
- ・四日市市本町プラザ管理
- ・旧(株)三重ソフトウェアセンター社屋管理

◎自主管理施設

- ・賃貸住宅管理運営(坂部団地 31 戸)
→除却に向けた住民への訪問説明、相談、転居手続き等を実施
- ・賃貸店舗管理運営(三重団地 20 戸)

◎駐車場管理事業

- ・月極駐車場管理運営(坂部団地 38 台、三重団地 32 台、あさけ団地 19 台、桜台団地 57 台)
- ・近鉄湯の山線高架下月極駐車場管理 (58 台)
- ・国道 23 号高架下駐車場管理 (311 台)

●都市環境の維持保全

◎緑地管理事業

- ・伊坂、山村貯水池周辺緑地管理

V 四日市市及び市民等と連携・協働したまちづくりに関する事業

●四日市市からの事務受託事業、自主事業の推進

- ・防犯外灯新設維持費補助金交付事業

●まちづくり関係事業団体との連携支援

関連事業団体の運営支援や連携を図り、まちづくりの幅広い展開や事業の相乗効果を高めるため、四日市市土地開発公社及び公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センターへの人的支援等について連携を図っています。

VI 霞ヶ浦会館の活用に関する事業

●霞ヶ浦会館の運営管理

競輪参加選手の宿泊並びに霞ヶ浦緑地及び周辺の運動施設利用者の合宿に供するとともに、広く各種団体や企業等の宿泊研修、会議の場として地域振興に努めています。

[平成 29 年度の主な利用状況]

- ①競輪参加選手の宿泊 (年間延宿泊者数 4,457 人/前年度実績 4,859 人)
- ②各種団体の宿泊研修 (年間延宿泊者数 2,578 人/前年度実績 2,598 人)

●霞ヶ浦会館の活用による市民活動の交流推進

- ・市民のコミュニティ活動の推進

大ホール、レッスンホール、会議室等を利用して、市民の余暇活動及びコミュニティ活動の場として提供しています。

・教育文化の向上

視聴覚施設を有する大ホールにおいて、各種講演会、研修会等での利用を促し、教育・文化の向上に資するため利用促進を図っています。

[平成29年度の主な利用状況]

大ホール、会議室、和室、レッスンホールの利用

(年間利用件数 101件／前年度実績 110件)

●四日市競輪場施設の管理運営業務の受託に関する事業

四日市市が実施する競輪事業の安全管理業務（ノミ行為・暴力団追放対策及び四日市市自転車競走実施規定に基づく場内取締業務）を受託実施しています。

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団 組織体系図(平成30年4月1日)

